

様式4の2

令和6年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立倉吉東高等学校

学校長 福光 浩

評 価 日	令和7年2月25日（火）	
評 価・提 言		学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について （1）学校の魅力化・特色化の推進・発信と中高連携の強化 ・学びのスキルアンケート結果で、1年生は構造型、2年生はオープン型とあるが、説明してほしい。 （2）生徒支援の充実と業務改善の取組 ・別表のアンケートの「東高に入学してよかった」という項目の数値が高いことは、高評価につながる説得力のあるものである。		・構造型はある程度やり方を教員が示し、それに従っていけば探究的な学びができ、オープン型は生徒が自発的に目的設定を行い、探究を進める学び方である。 ・保護者へのアンケートの取り方については工夫したい。
2 目標達成のための取組結果について （1）学校の諸活動の推進・発信と中高連携の強化 ・中学生体験入学の参加目標数が320名としているが、実際の参加人数は何人か。また、中学生への説明会に東西部の参加者はいたか。 （2）定時制教育のさらなる充実 ・不登校傾向の生徒がいる中で、授業アンケートの授業に対してほぼ肯定的評価がなされていることに先生方の努力が感じられる。学校見学の要望に対しても快く引き受けていただくとともに、丁寧な説明をしていただき感謝している。		・中学生290名、保護者88名の計378名の参加者だった。県外から1名、東西部からの参加者もあった。 ・3年間の皆勤者が出たことに加え今年度は3年半あるいは4年かけて卒業する生徒が複数出ていることから「全ての生徒への安心安全で居心地のよい環境の提供」の項目について、評価をAとしたい。
3 具体目標の達成状況について （1）IB教育を生かした授業改善と評価・学力向上による進路目標の実現 ・「IB教育の理念を生かした授業改善と評価」と「学力向上による進路目標の実現」の項目については授業評価アンケートの結果から概ね80%以上が肯定的であることや問題点が記述されていないことから、評価Aでもよいのではないか。		・学校としては足りない部分が見えてくるので、Aは付けにくい。

(2) 探究活動の進化と指導体制の改善 ・「生徒主体の探究活動の実践」の項目については生徒のアンケートの評価が高く、評価をAとしてもよいのではないか。 4 目標達成のために取り組んだ具体方策について (1) 学校に関する情報の発信と中高連携の充実 ・中学生体験入学や学校説明会等については、中学校を通さず希望したら申し込めるハードルの低さも必要ではないか。 5 その他 (1) 今後の生徒減への対応 ・アンケートを見させていただくと、生徒の意欲が高く、中学生に薦めたい学校になったと感じる。中部の生徒減を考えると、今後定員を減らすことは考えていないか。 (2) 学力向上による進路目標の実現 ・教員志望の生徒は何人いるか。 (3) 情報発信と中高連携の強化 ・東高の生徒がいろいろな場面で説明する機会があるが、中学生は学力の幅が広く理解力にも差があるため、平易な言葉で伝えることを心がけていたきたい。	・高い評価をいただき感謝する。さらに意見を聞き、協議したい。 ・直接中学生が保護者と一緒に申し込むケースが増えている。特色入試・IB教育説明会では、申込みしたが当日欠席された方には、東中西部に関わらず、当日の資料を送るようにしている。 ・教育委員会を含めて議論がなされているが、令和8年度までは学級減で対応する。それ以降については長期的展望に立って学校数を減らす、あるいは統合することも視野に教育委員会で議論が進められている。 ・20～30名である。教員を目指すことも東高の使命でもあり、力を入れていきたい。 ・本校の魅力を発信しているが、さらなる改善に努めたい。
---	--